

《応急手当のススメ》

2年5組 宮本汐音

講習のお問い合わせ

電話 052-853-0099

ファックス 052-853-1682

またはお近くの消防署へ

★応急手当の意義

応急手当＝医療関係者のいない現場で、**迅速**かつ**確実**に患部を手当すること。

傷や障害が残らないようにするためにも、応急手当は重要です。

ちなみに 一般人が行う  **応急救置** 医療関係者が行う  **応急手当**

★なぜ大事なのか

怪我をしてすぐ手当てするのとしないのでは生存率が**3倍**も違うんです！

冷却や**圧迫**、**人工呼吸**を含めた**心肺蘇生**など、**症状に応じた手当をする**のがとても重要。

応急手当についてもっと学びたい人は**近くの消防署**に行ってみてください！

無料で応急手当のことや救命について教えてくれます！

○普通救命講習Ⅰ・Ⅲ(3時間)

○普通救命講習Ⅱ(4時間)

○上級救命講習(8時間)

○救命入門コース(90分)

★上級救命講習の様子

①要救助者発見



②119番通報、AEDなどの協力指示



③AED到着まで心肺蘇生



④AEDの使用



★災害時の医療　ー平時と違うことー

○ 救急車は来ない！？

というのも、救急車の数は各地域で異なるうえ、災害で道が使えない可能性が高いからなんです。
例えば、名古屋の人口は **220万人**。それに対して名古屋市にある救急車はたった **39台**。
119番通報しても繋がらないうえ、近隣でも怪我は起きるのでとても間に合わないんです。

○ 病院は使えない！？

「救急車がダメなら直接病院へ向かおう！」と思う人もいるかもしれません。

ですが災害時でも機能できる病院は名古屋だけでたった **11ヶ所** なんです。
この先30年以内に70%の確率で起こる**南海トラフ地震**、名古屋での死者数は **2万3000人**
だと言われています。そのうち3割は生存できたのにできなかった人になります。
もし病院に行けたとしても、怪我の重症度で優先順位が変わる制度(**トリアージ**)があるので
軽度の怪我では処置もされず何時間も待つことになってしまいます。

★役立つ応急手当術 身近なものを用いて手当する方法を学びましょう。

<傷の手当>

浴用タオルを傷の幅に合わせて縦に折る



傷口にガーゼやハンカチを当て、タオルを上から巻く



(+α)ビニール袋の側部を切り開き、そこに腕を通して固定する



<頭部の怪我>

傷口にガーゼやハンカチをあてる



浴用タオルを上から覆い、顎の下で結ぶ
(タオルの中心が傷口にあたるようにする)



<直接圧迫止血法>

出血部にガーゼやハンカチをあて、直接、強く押さえる
このとき、少なくとも**4分以上**押さえる。離してはいけない
(**行う際は血液に触れない**よう、ビニール袋や手袋をつける)



<関節圧迫止血法>

まずはじめに傷の位置を確認する



傷の部位より心臓に近い関節や太い血管を探す
(首や股の内側、二の腕や脇など)



その血管を強く圧迫し動かさない
(できれば心臓より高く拳上する)

